

災害や緊急時の学校対応について(児童在校時)

★下記の対応は一つの目安としてご理解ください。

学校の判断・対応	状況レベル	事件・事故・自然災害の程度と内容			保護者への連絡	備考
		事件・事故(例)	地震(例)	台風(例)		
全児童の残留 ◎ 保護者の引き取り ☆ 保護者が引き取るまで、学校に残留	レベル3 ◎児童の生命、身体に影響が及ぼされる可能性がある	◎近隣で凶悪事件が発生、犯人逃走中 ◎近隣に殺人犯・凶悪犯が潜伏中 ◎飛行機事故 ◎ガス爆発	◎震度5強以上の地震 ◎震度5弱以下の地震が発生し、かつ八王子市内を運行するJR・京王線の一線でも運行停止の場合	◎直撃し、夕方(夜)まで停滞する可能性がある (下校できない様子)	◎学校からの手紙 ◎ホームページ掲載 ◎一斉メール ◎災害伝言ダイヤル	◎事件・災害の内容によっては当分の間、休校・一斉下校とする場合がある
一斉下校 ◎下校時間を合わせ、一斉に下校する。	レベル2 ◎より安全を確保する	◎学区域近くで痴漢露出、ナイフをちらつかす等の事件が発生 ◎近隣の他市で発砲事件が発生	◎建物や道路に被害が出ている可能性がある	◎風雨が強まる可能性がある	◎学校からの手紙 ◎ホームページ掲載 ◎一斉メール	◎事件・災害の内容によっては当分の間、一斉下校とする場合がある
	レベル1 ◎安全に対する注意を喚起する	◎前日までに学区域近くで痴漢露出等の情報	/	◎普段より風雨が強い	◎学校からの手紙 ◎ホームページ掲載 ◎一斉メール	/

◎在宅時に重大事態発生の場合、休校にするか等の連絡は一斉メールで行います。当日に連絡が必要な場合も、一斉メールを活用しております。

連絡不能の場合(電話が不通等)、各家庭の判断に任せます。